

海外安全対策情報（2021年1月～3月）

在ベネズエラ日本国大使館

1 社会・治安情勢

当地NGOの統計によれば、2021年1月～3月の間に発生したデモ件数は1,506件で、前年同期（1,977件）比で約24%減少、同期間中におけるデモの最中の死者数は1人でした。

デモの訴えは、国内経済のドル化の進行を背景に米ドルでの賃金を求めるもの、また、電気、家庭用ガス、上水道などの公共サービスの向上を訴えるものが大半で、大規模な反政府デモの発生はありませんでした。

ディーゼル燃料の不足が顕著になってきていることから、一次産業における収穫減および地方から都心部への輸送減少による食料品不足等が懸念されています。

また、ブラジル変異株が確認されたこともあり、新型コロナウイルスの感染が3月以来再拡大しています。医療体制の充実やワクチン接種を求める医療関係者のデモも発生しています。今後の感染や接種状況によっては注意が必要です。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 全般

当地治安当局によれば、2021年1月～3月の犯罪発生認知総件数は、前年同期比で約10%減少していますが、強盗や盗難等の件数はカラカス都市部などで下げ止まりの傾向も見られます。経済のドル化の進行により、ドル現金を持って買い物に向かう人が犯罪の標的になる場合も想定されます。現金はなるべく持ち歩かず、持っていることがわからないように、常に周りに注意してください。

(2) 各論

当地治安当局によれば、最近多い犯罪の手口は、SNS等の情報から被害者の身辺情報を入手し、この情報を元に、たとえば家族に危害を加えられたいくれば金を支払うよう脅迫するものです。このような手口を防ぐには、SNS等の公開情報に個人情報を開示しないことが基本です。

また、インターネット上のフリーマーケットで中古車両の販売を装って被害者をおびき出し、売買の現場に現れた被害者から金品を強奪したり、誘拐する手口も多くなっています。知らない相手との売買には十分慎重に対応してください。

(3) 邦人及び邦人以外の被害事案

なし

3 テロ・爆弾事件発生状況

なし

4 誘拐・脅迫事件発生状況

上記2(2)のとおり。